



SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度テーマ

Rotary



# 中村ロータリークラブ

## 例会記録 (2021～2022)

会 長/井 上 克 彦

幹 事/嶋 村 晃

会報委員長/島 本 正 人

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2704

第2835回 令和4年6月15日(曇り)

本日のプログラム: 東 邦彦ガバナー「国際大会報告」

6月22日(水): 2021-2022年度最終例会

7月6日(水): 門田 義仁 高知第Ⅱ分区ガバナー補佐 訪問

### 【会長挨拶】井上 克彦会長

- 今日は通販大手企業Amazonの話です。巨大なネット通販、Amazonの倉庫で働いたイギリス人ジャーナリストによると、倉庫内の商品を集めるために、1日20km以上の距離を歩かされたそうです。病気で仕事を休めば、懲罰の点数がつけられ、簡単に解雇もされる。従業員は「解雇」されるのではなく、「リリース」開放されると言っていたそうです。また、『アマゾンの倉庫で絶望し、ウーバーの車で発狂した』という本も出版されました。Amazonは、労働組合結成に反対し続けてきたようですが、ここにきて大きな風穴が開きました。本拠地アメリカ・ニューヨークの物流拠点で、組合ができるようになったそうです。また日本でも、宅配を担う個人事業主のドライバーたちが労働組合を立ち上げたと、昨日の朝日新聞が報じています。今やネットで商品を注文すれば、あっという間に届く時代になりました。しかし、その便利さの裏では、過酷な労働環境が隠れているのかもしれない。労働組合も大事ですが、どこかで歯止めをかける仕組みが必要で、

「早く届くのが当たり前という私たちの感覚も変えなければならぬように思います。

### 【幹事報告】嶋村 晃幹事

- ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」267号 拝受
- ガバナーエレクト事務所より来期の地区大会テーマ「環境」に関するクラブの活動アンケート依頼
- 菊池RCより創立50周年記念式典のお礼状
- 来週(22日)は今期最終例会です。

### 【委員会・会員発言】

#### ■一藤 勝之財団委員

委員長欠席ですが、ロータリー財団、今期の一人100ドルのご寄付をよろしくお願ひします。

#### ■明神 三幸ゴルフ愛好会 会長

久しぶりにゴルフコンペを開催します。7月17日(日) 8:33～スタート 土佐ユートピアCC



## 【本日のプログラム】 東 邦彦ガバナー「国際大会報告」



3月1日から、渡航基準が緩和の方向になり、出入口の待機時間が無くなるという情報を聞き、ヒューストン国際大会出席の方向に舵を切った。「出席するなら妻と二人で」と決め、代表幹事とスケジュールの調整に入った。コロナ禍の渡米・帰国の条件として、前日のPCR検査の陰性証明と、ワクチン接種証明（3回分）を要した。

2年半待ちわびた国際大会ということもあり、テキサスヒューストン国際大会は魅力的であり続けた。

6月4日の出発当日、羽田空港第3ターミナルに集合。10時間のフライトでフォートワース・ダラス国際空港に着いた。その後、4時間ものバスの旅を経てヒューストンに到着。ヒューストンは人口230万人。国旗よりも州旗を大切に、米国の中でも勢いのある都市である。

6月5日は最も忙しい日の始まりであった。先ず7時30分より、天野理事のご指導による、有名なマリオットホテルでの日本人朝食会。250人が集う部屋に、シュカール・メータRI会長が現れた途端、拍手が巻き起こった。彼のスピーチ後、

ジェニファー・ジョーンズ氏がスピーチを披露し、会場は盛り上がった。終了後、私達はヒルトンホテルの宿泊部屋で一休みしたのち、コンベンションホールへ向かった。私達の地区は前田PGご夫妻、大島PG、八田GE、そして私達夫婦の6名。10時よりオープニングジェネラルセッションが始まった。司会者の軽妙な挨拶ののち、シュカール・メータご家族の登場。スピーチでは、過去5年間成し遂げられなかった目標「会員数140万人」が達成できたと表明された。あまりにも広いホテル、コンベンションセンターで、妻は足を痛めたため、夜のガバナーナイトではヒールが履けなかった。ガバナーナイトは、30分程度離れた瀟洒なホテルで行われ、三浦議長がホストを務めた。ジャズの本場アメリカ。ジャズバンドが入っており、生のアメリカの夜を楽しんだ。

私は、国際大会とは何であろうかと考えたことがあったが、それが一気にわかったのは、翌日午後に参加したシュカールメータ・ムーヴァースの集いである。メータ会長を中心として行われた、現役ガバナーの会合である。世界540の地区のガバナー達が同じジャケットを着て、コロナの中で健闘した仲間を称え合うのである。

私は、世界とつながるロータリーの力を認識した。国際大会には参加してみなければわからない何かがあり、教えてくれるのも国際大会である。

## 中村ロータリークラブの皆様へ

佐竹 義典

先日はご丁寧にお見舞いをいただき、ありがとうございました。大変ご心配をかけております。

現在、私は京都大学の付属の病院にて、前立腺の治療にあっております。巨大な医療施設の中で、日々退屈な日々を過ごしております。

高知を離れて思うことは、土佐の新鮮なカツオを食べられない、ということです。早く

元気になって、マルサの醤油をたっぷりつけて食べたいです。

病院のご飯は、どれも薄味で物足りません。早く皆様の顔を見られるように、治療に専念します。

最後になりましたが、東邦彦ガバナー、井上克彦会長、1年間本当にお疲れ様でした。

【出席報告】 ・会員総数53名（免除会員6名）

・本日の出席/30名 68.18%

・先週の訂正 MU4 69.77%→77.27%